

ほぼボルトオンでフルカスタムは作れる!

現行フレームでレーシーなシルエットを作るのは結構難しいが、シュアショットはオリジナルの外装キットを市販化し、ほぼボルトオンで美しいカフェスタイルを作り上げた。

next/Y.Fujita 廣田佳照 photo/M.Morichika 森近真



フェアリングはオプションで簡易なクイックファスナーを用意。装着にはブラケットが必要になる。カーボンは18万1440円、黒ゲル仕上げは13万8240円

かなりナローなタンクはEFIとキャブ用を用意。エアプレントタイプのタンクキャップも付属する。カーボンは24万6240円、黒ゲル仕上げは19万2240円

ストップランプ&ウインカーを埋め込んだテールは、シートを外すと小物入れが現れる機能的なデザイン。カーボン仕上げは21万3840円、黒ゲル仕上げは17万640円



現 行のラバーマウントフレームはシルエットがリア下がりでも幅も広いので、カフェらしいスタイルを作るのが難しく、どうしてもファットな印象になりがちだ。しかしシュアショットが製作した1200Rは、ラバーマウントとは思えないほどスリムで軽快な走りを感じさせるスタイルに仕上げられている。しかもこの外装は同店の量産市販パーツ。ボルトオンで簡単にフルカスタムになるというわけだ。「できる限りスリムに作りたかったので、テールの処理にはこだわりました。無加工でも装着できますが、

カウルのラインに合わせてストラットをカットした方が一体感が出るのでキレイに仕上がります」とビルダーの相川さんが言うように、リアのフェンダーストラットだけは処理しているが、その他はほぼ市販パーツで仕上げている。現状ではワンオフのエキゾーストも、将来的にはノーマル車にボルトオンで装着することを想定してテストを繰り返している。「サーキットを走ったら路面に擦ったので、もっと内側に追い込んでバンク角を稼げるようにします」と、本格的な「レーサー」としての活躍もできる1台に進化する予定だ。

サーキット走行も想定して足回りも強化!

左: シュアショット代表の相川拓也さん。ハードなカスタムも作るが、ビギナーにも親しみやすいショップであることを心がけている。右: カーボン仕様の外装はサーキットで走行テストをするなど、強度も十分考慮して製作している



カーボン外装は同店がオリジナルで製作した量産パーツなのだ!



フォークはホンダ・CBR900用。キャリアサポートを製作してニッシン製6ボットをセット。ホイールは18インチを選択している

Shop Model
2006 XL1200R

TEL043-312-0900 sureshot.jp

SURE SHOT

シュアショット



リアサスは延長パーツで約5cm長くしてチェーン駆動化。そうするとチェーンがスイングアームのピボット付近にあるので、アルミのローラーを設置して干渉を防いでいる

CBR用フォークを装着するためステムをワンオフし、国産バイク用のトリップオンハンドルキットを装着。スイッチなどの樹脂パーツはテラコートで金属風に仕上げた

RSDのバックステップキットにはヒールガードがなかったのでワンオフで製作。足元のホールド性が良くなる。カーボンのタービーカバーは開発中のパーツだ

左右出しのスチール製フルエキゾーストは現状ではワンオフだが、将来的には量産してボルトオン装着できるようにする予定。サーキットで試作品をテストしている段階だ

